

東洋炭素株式会社

2021年12月期 決算説明資料

2022年2月21日

東洋炭素株式会社

2021年12月期 決算概要

1. 2021年12月期業績

	FY20	FY21			
	(A)	(A)	(F) *	前期比	予想比
(単位：百万円)					
売上高	31,226	37,734	36,500	+ 6,507 / + 20.8 %	+ 1,234 / + 3.4 %
営業利益	3,422	5,666	5,600	+ 2,243 / + 65.6 %	+ 66 / + 1.2 %
(売上高営業利益率)	11.0%	15.0%	15.3%		
経常利益	3,877	6,264	6,000	+ 2,387 / + 61.6 %	+ 264 / + 4.4 %
(売上高経常利益率)	12.4%	16.6%	16.4%		
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,662	4,465	4,200	+ 1,803 / + 67.7 %	+ 265 / + 6.3 %
1株当たり 当期純利益	126円95銭	212円94銭	200円26銭		
ROE	4.0%	6.4%	—		
為替レート	106.8円/\$ 121.8円/€ 17.0円/人民元	109.8円/\$ 129.9円/€ 17.0円/人民元	105円/\$ 128円/€ 16.5円/人民元		

* 2021年8月10日公表

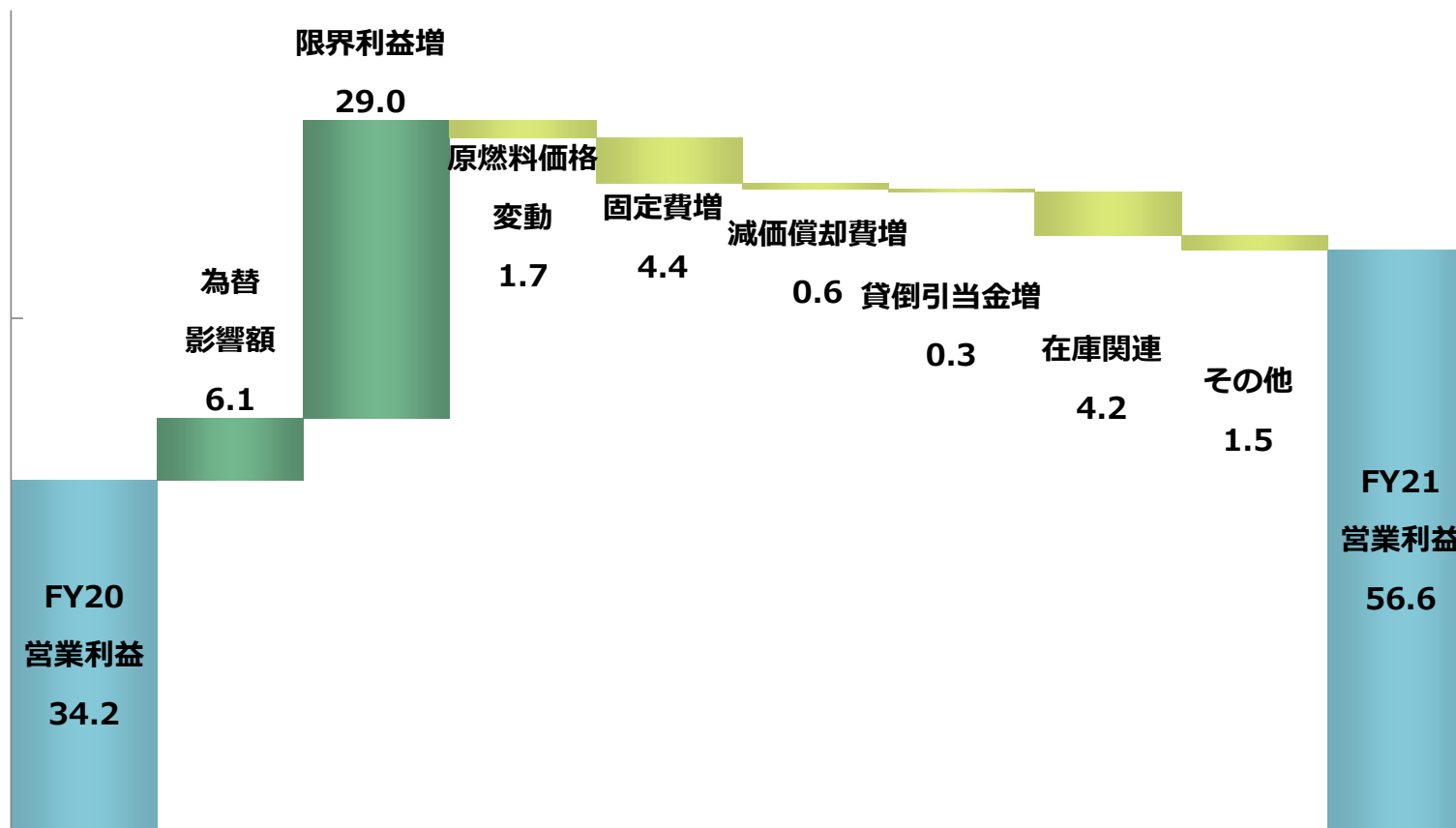
2. 営業利益増減要因

(2020年12月期実績 vs2021年12月期実績)

✓ 売上増による限界利益増で前期比+65.6%の大幅増益

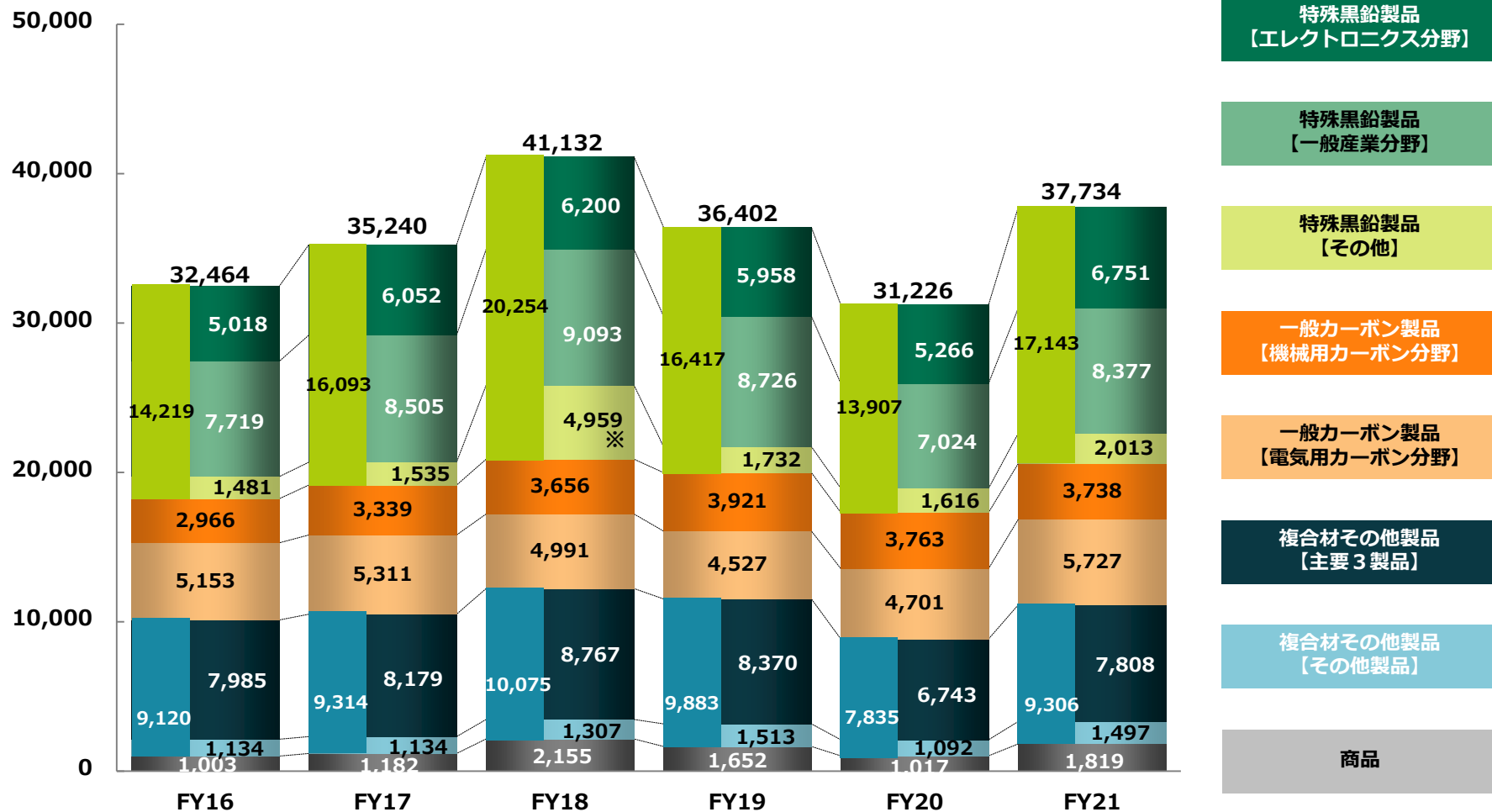
✓ 人件費増と一過性の試験研究費計上で固定費増加 期後半には資源高の影響顕在化

(単位：億円)



3. 製品・分野別売上高

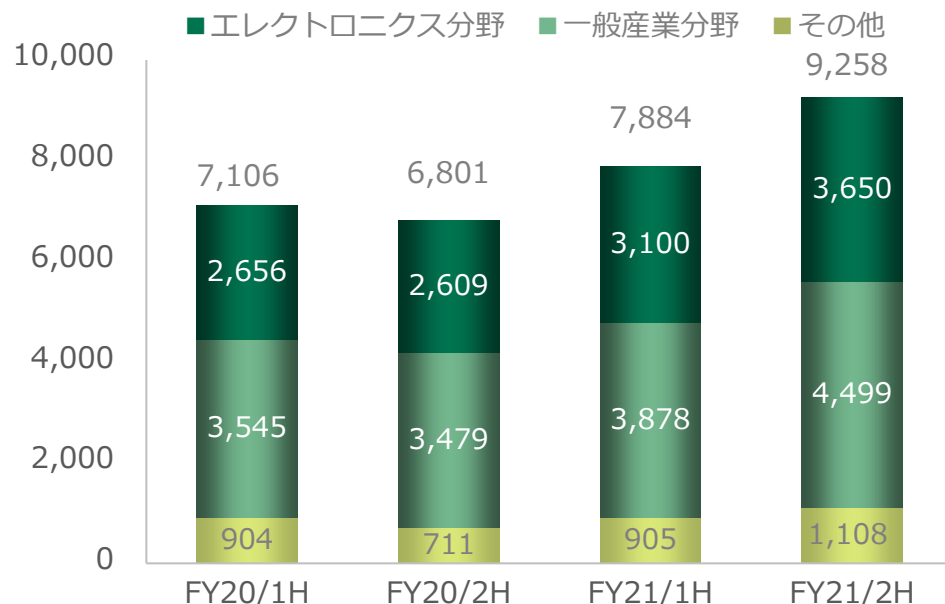
(単位：百万円)



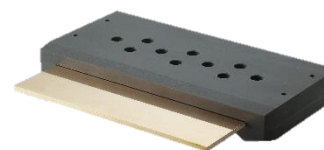
※ FY18の特殊黒鉛製品 その他の売上高には、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上高3,204百万円が含まれております。

3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

(単位：百万円)



連続製造用ダイス



単結晶シリコン製造装置



放電加工用電極

【エレクトロニクス分野】

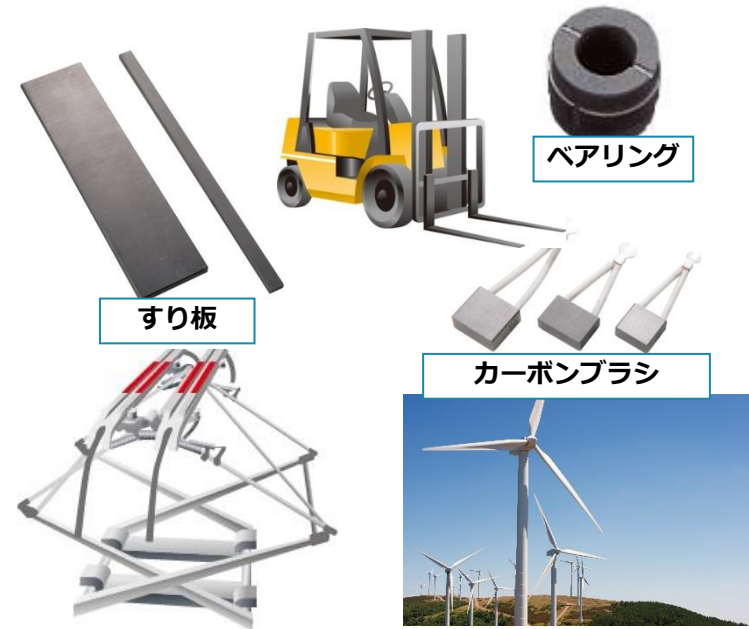
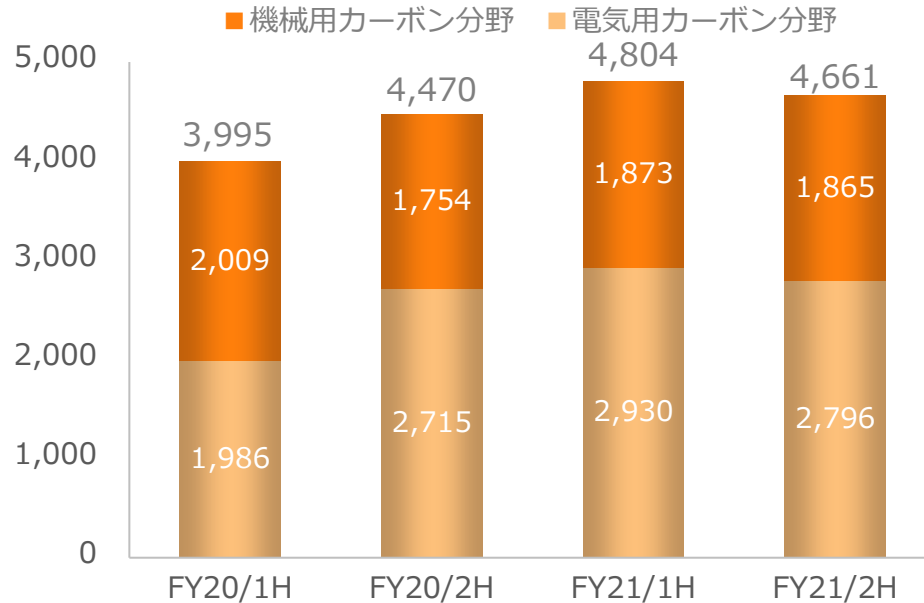
単結晶シリコン製造用は1Qより好調なスタートで4Qにかけ需要漸増、SiC半導体市場の立ち上がりで化合物半導体の需要も高水準で、両用途とも過去最高売上を達成。太陽電池製造用は中国で付加価値品の販売が一定程度進展した他、一部アジア地域での引き合いもあり堅調。

【一般産業分野】

半導体需要の高止まり、自動車等の対面産業は一部新型コロナウイルス感染症再拡大の影響あるも稼働回復で、連続製造用や工業炉用の需要は前期比大幅増。放電加工電極も堅調。

3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

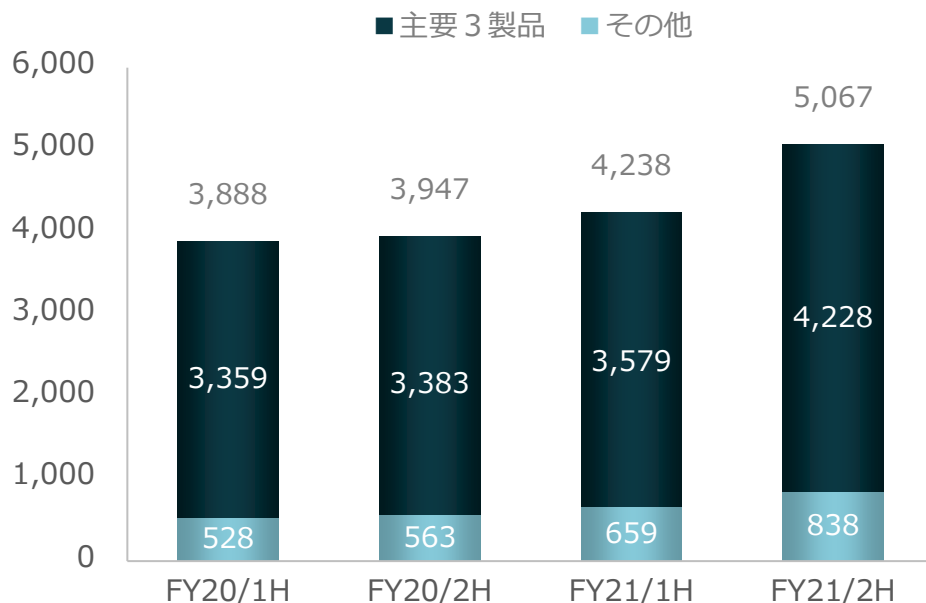
軸受・シールリング等は、特需の反動減ありFY21/1Hは前期比ダウンも、安定した推移で前期並みの着地。パンタグラフ用すり板も引き続き需要安定。

【電気用カーボン分野】

巣ごもり需要にともなう家電・電動工具向け小型モーター用の需要は、期後半でトーンダウンの想定も、1H/2Hとも高水準で推移。通期の売上高は過去最高を記録。

3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

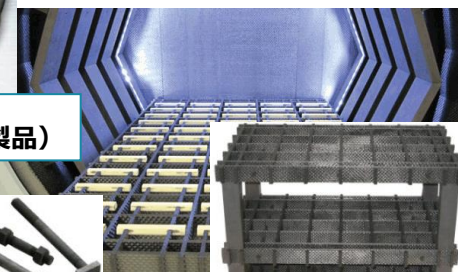
(単位：百万円)



MOCVDサセプター
(SiCコーティング黒鉛製品)



黒鉛シート製品



三段トレイ
(C/Cコンポジット製品)



ボルト・ナット
(C/Cコンポジット製品)

【主要3製品】

SiCコーティング黒鉛製品は需要強く、半導体用（シリコン/SiC）・LED用いずれも好調。特にSiC半導体用は市場立ち上がりで驚異的な伸びを記録。

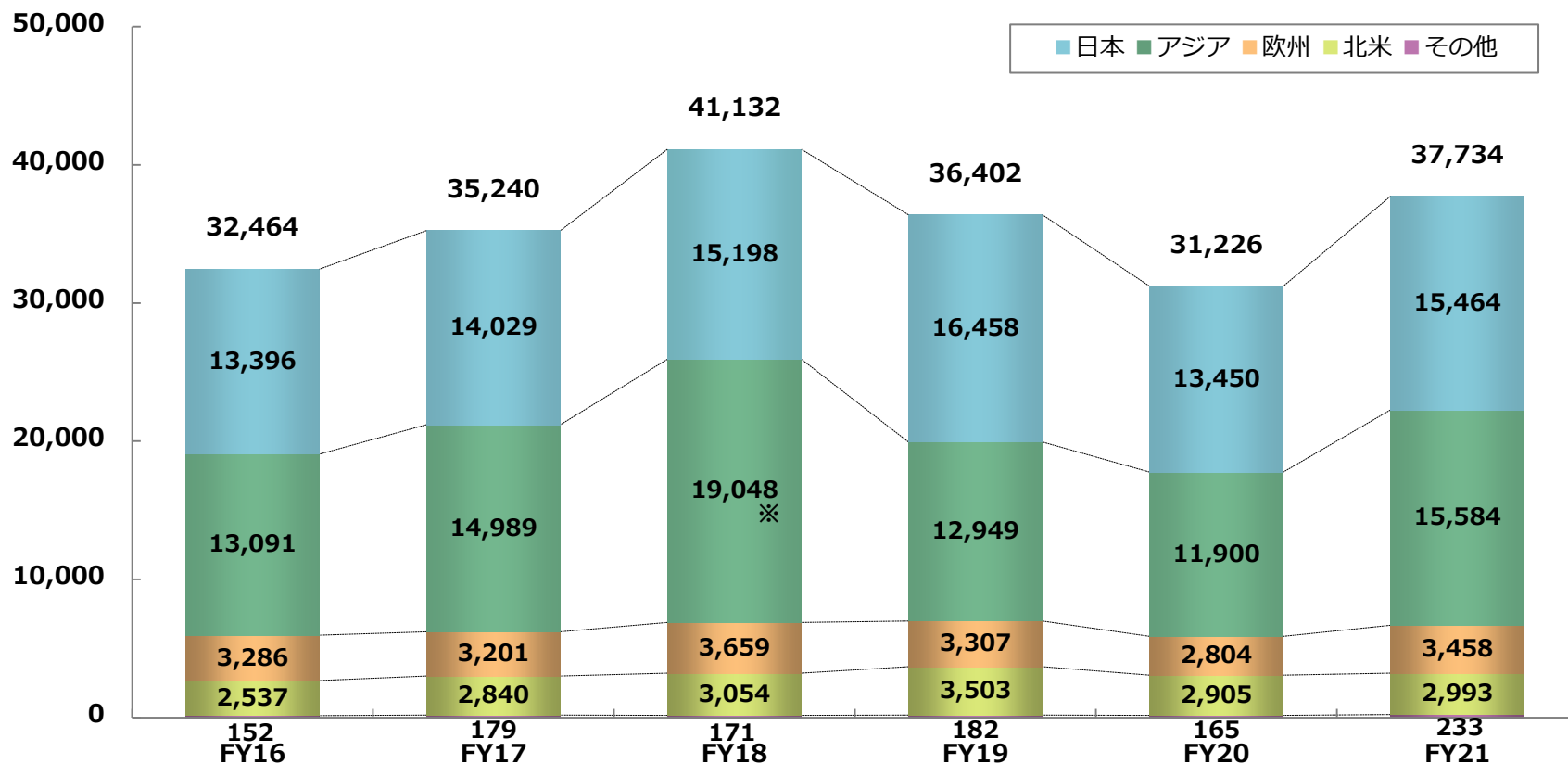
C/Cコンポジット製品は半導体用が好調。工業炉用は回復緩やかながらも、一部で炉のメンテナンス再開にともなう需要が発生するなど回復基調。太陽電池用もPECVD用部材が堅調。

黒鉛シート製品は、半導体用・自動車用などの需要増。

4. 地域別売上高

✓ 各地域順調に回復 中でも中国は前期比大幅増でアジア地域の業績牽引

(単位：百万円)



※ FY18のアジアの売上高には、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上高3,204百万円が含まれております。

5. 2021年12月期

連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表	(単位：百万円)	
	20/12月末	21/12月末
資産合計	76,075	83,655
受取手形及び売掛金	11,389	14,198
たな卸資産	15,675	16,023
有形固定資産	28,448	31,046
負債・純資産合計	76,075	83,655
有利子負債	255	199
資本金	7,947	7,947
純資産	66,622	72,256
自己資本比率	87.5%	86.3%

連結キャッシュ・フロー 計算書	(単位：百万円)	
	20/12月期	21/12月期
現金及び現金同等物の期首残高	6,101	12,093
現金及び現金同等物の増減額	5,992	376
現金及び現金同等物の期末残高	12,093	12,470
営業活動によるCF	7,020	7,328
投資活動によるCF	1,011	▲ 6,252
財務活動によるCF	▲ 2,099	▲ 1,261

2022年12月期業績予想

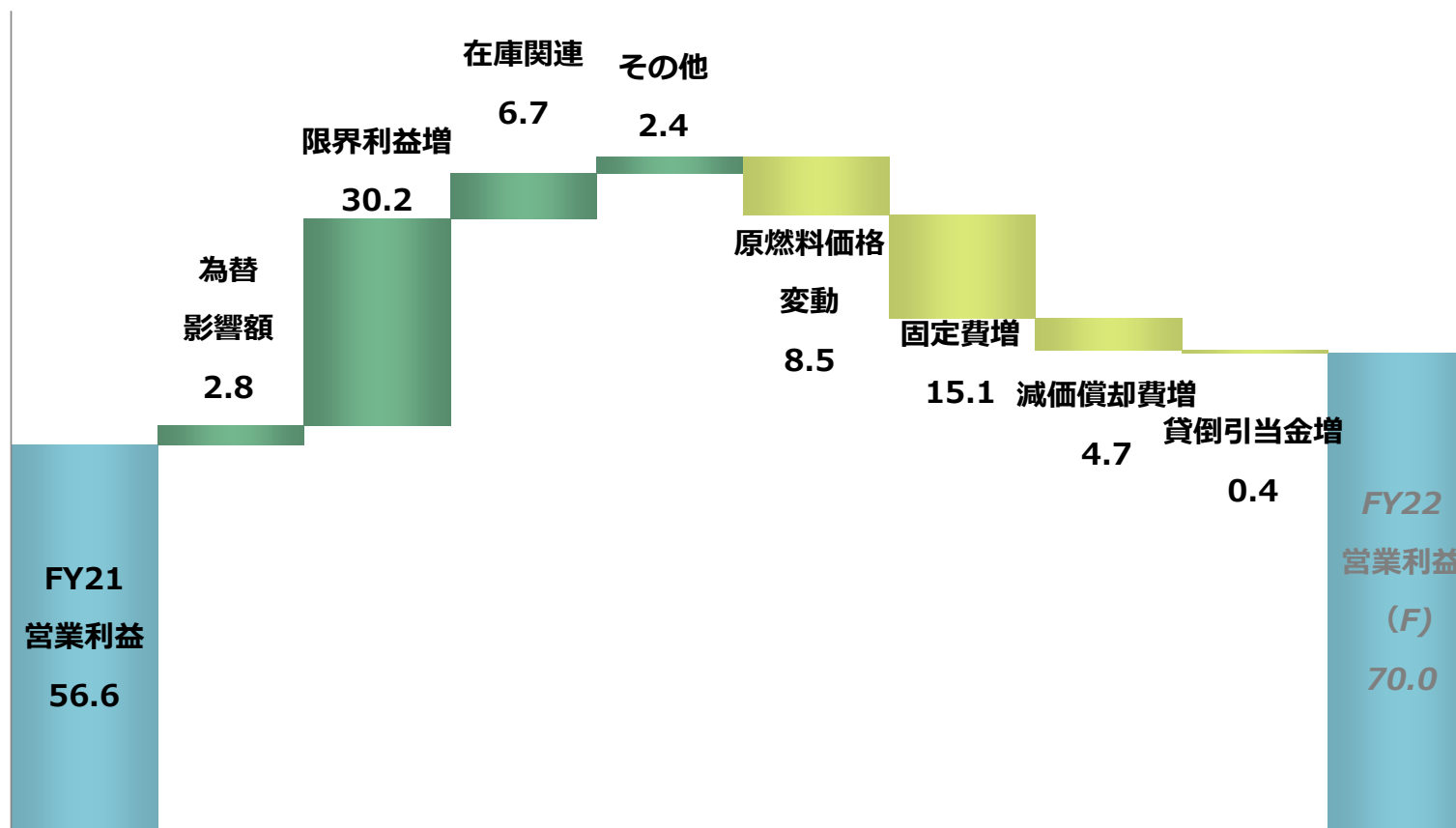
1. 2022年12月期業績予想

(単位：百万円)	FY21			FY22 (F)			
		内訳			内訳		前期比
売上高	37,734	1H 17,535	2H 20,199	42,000	1H 20,000	2H 22,000	+ 4,265 / + 11.3 %
営業利益	5,666	1H 2,366	2H 3,299	7,000	1H 2,800	2H 4,200	+ 1,333 / + 23.5 %
(売上高営業利益率)	15.0%			16.7%			
経常利益	6,264	1H 2,779	2H 3,485	6,900	1H 2,700	2H 4,200	+ 635 / + 10.1 %
(売上高経常利益率)	16.6%			16.4%			
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,465	1H 1,824	2H 2,641	5,000	1H 2,000	2H 3,000	+ 534 / + 12.0 %
1株当たり 当期純利益	212円94銭	1H 86円98銭	2H 125円95銭	238円41銭	1H 95円36銭	2H 143円04銭	
ROE	6.4%			6.7%			
為替レート	109.8円/\$ 129.9円/€ 17.0円/人民元			112円/\$ 126円/€ 17.5円/人民元			

2. 営業利益増減要因 (2021年12月期 vs 2022年12月期)

- ✓ 資源高の影響や人件費の大幅増に加え、償却負担も増加するものの売上増加とMIX改善による限界利益増で前期比+23.5%の増益

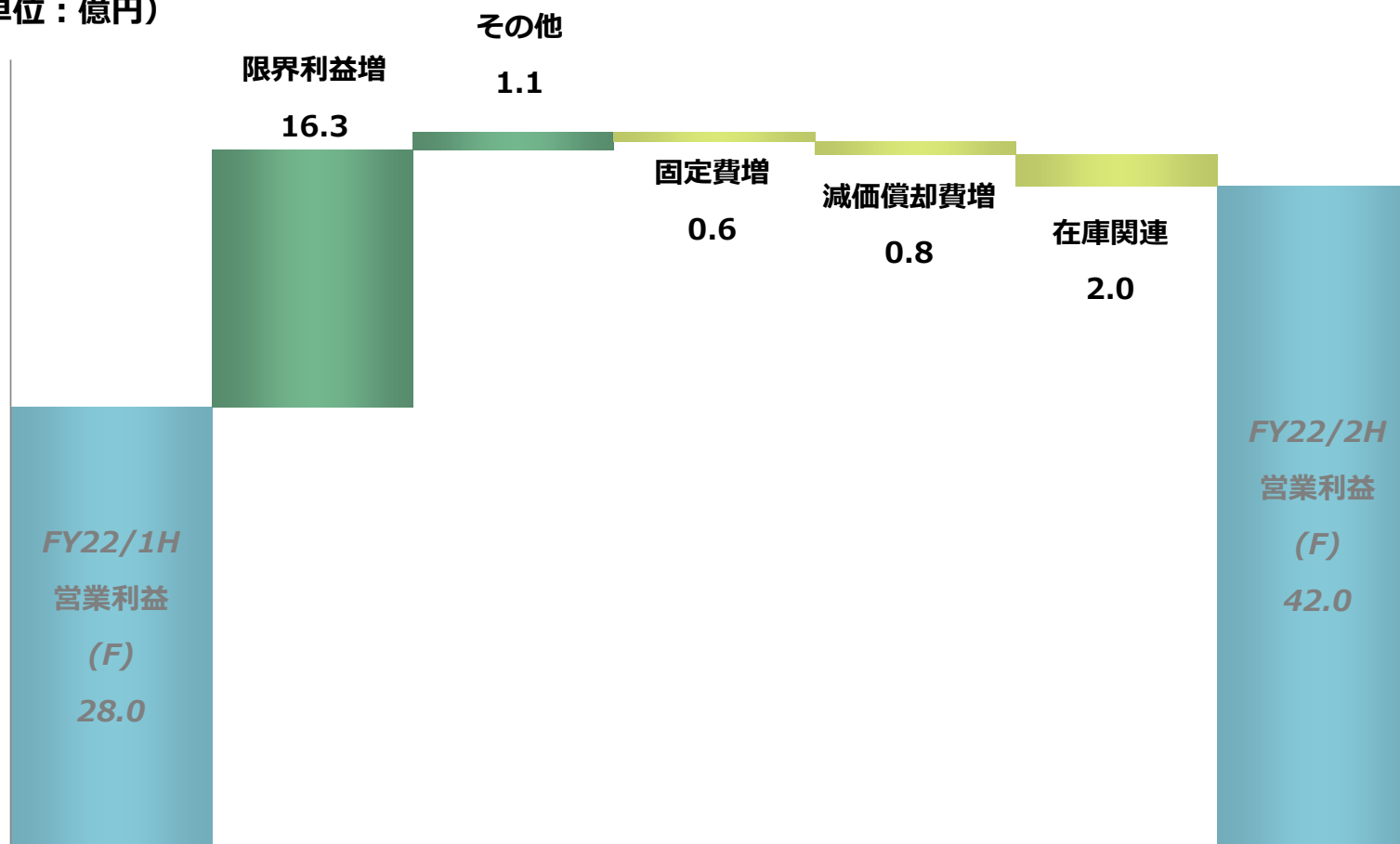
(単位：億円)



2. 営業利益増減要因 (2022年12月期上期 vs 下期)

✓ 売上増と原燃料の価格転嫁実現による限界利益の増加で、下期は利益水準改善

(単位：億円)



3. 製品・分野別売上高

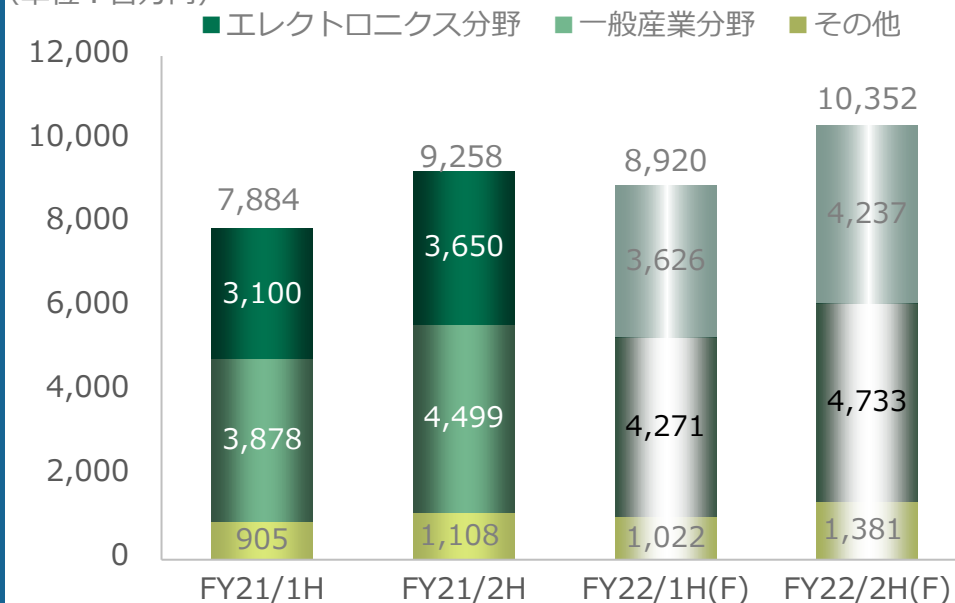
製品・分野別	FY21			FY22(F)					
	1H	2H	通期	1H	増減 (%)	2H	増減 (%)	通期	増減 (%)
特殊黒鉛製品	7,884	9,258	17,143	8,920	+13.1%	10,352	+11.8%	19,272	+12.4%
エレクトロニクス分野	3,100	3,650	6,751	3,626	+17.0%	4,237	+16.1%	7,864	+16.5%
一般産業分野	3,878	4,499	8,377	4,271	+10.1%	4,733	+5.2%	9,004	+7.5%
その他	905	1,108	2,013	1,022	+12.9%	1,381	+24.6%	2,403	+19.4%
一般カーボン製品（機械用）	1,873	1,865	3,738	1,786	▲4.6%	1,925	+3.2%	3,711	▲0.7%
一般カーボン製品（電気用）	2,930	2,796	5,727	2,626	▲10.4%	2,782	▲0.5%	5,408	▲5.6%
複合材その他製品	4,238	5,067	9,306	5,475	+29.2%	5,937	+17.2%	11,413	+22.6%
主要3製品	3,579	4,228	7,808	4,843	+35.3%	5,231	+23.7%	10,074	+29.0%
その他	659	838	1,497	631	▲4.2%	706	▲15.7%	1,338	▲10.6%
商品	607	1,211	1,819	1,191	+96.1%	1,002	▲17.3%	2,193	+20.6%
合計	17,535	20,199	37,734	20,000	+14.1%	22,000	+8.9%	42,000	+11.3%

3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

製品・分野別	FY21			FY22(F)					
	1H	2H	通期	1H	増減 (%)	2H	増減 (%)	通期	増減 (%)
特殊黒鉛製品	7,884	9,258	17,143	8,920	+13.1%	10,352	+11.8%	19,272	+12.4%
エレクトロニクス分野	3,100	3,650	6,751	3,626	+17.0%	4,237	+16.1%	7,864	+16.5%
一般産業分野	3,878	4,499	8,377	4,271	+10.1%	4,733	+5.2%	9,004	+7.5%
その他	905	1,108	2,013	1,022	+12.9%	1,381	+24.6%	2,403	+19.4%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



【エレクトロニクス分野】

・単結晶シリコン製造用は引き続き需要強く、化合物半導体製造用も一段の増加。太陽電池製造用も堅調な見込み。

【一般産業分野】

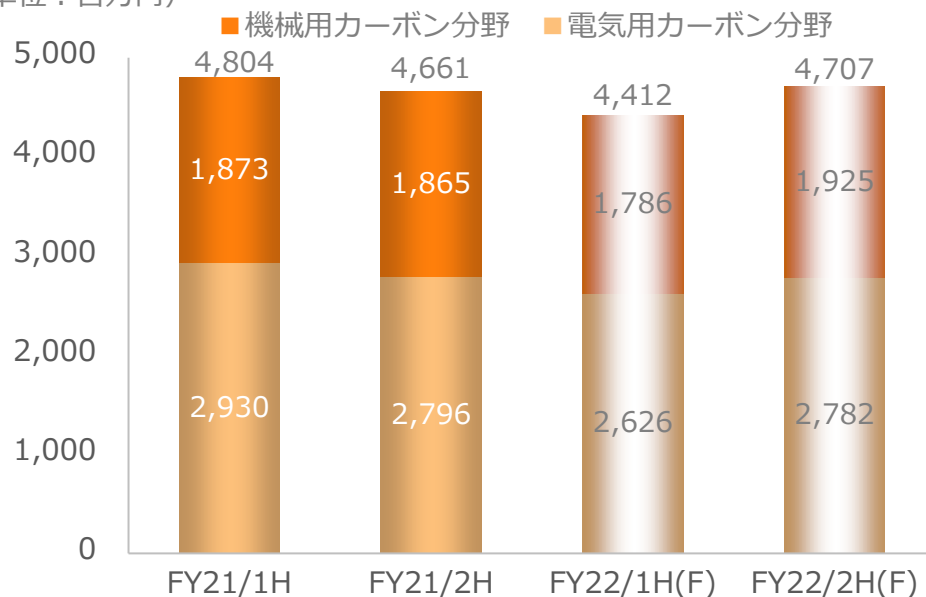
・放電加工電極や工業炉・連続鋳造用などの冶金用ともに順調。

3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

製品・分野別	FY21			FY22(F)					
	1H	2H	通期	1H	増減 (%)	2H	増減 (%)	通期	増減 (%)
一般カーボン製品 (機械用)	1,873	1,865	3,738	1,786	▲4.6%	1,925	+3.2%	3,711	▲0.7%
一般カーボン製品 (電気用)	2,930	2,796	5,727	2,626	▲10.4%	2,782	▲0.5%	5,408	▲5.6%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

- ・ 軸受、シールリング等は、多少の上下あるも安定的に推移。
- ・ パンタグラフ用すり板も堅調。

【電気用カーボン分野】

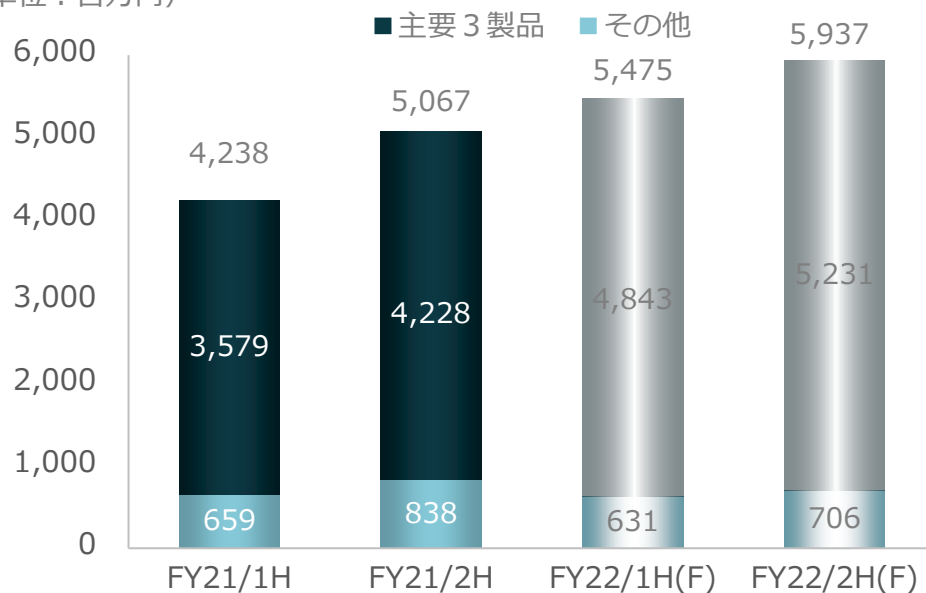
- ・ 需要はやや落ち着きつつあるものの、家電、電動工具向け小型モーター用は、引き続き高水準の需要を想定。
- ・ 産業機械向けの大型モーター用の拡販にも注力。

3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

製品・分野別	FY21			FY22(F)					
	1H	2H	通期	1H	増減 (%)	2H	増減 (%)	通期	増減 (%)
複合材その他製品	4,238	5,067	9,306	5,475	+29.2%	5,937	+17.2%	11,413	+22.6%
主要3製品	3,579	4,228	7,808	4,843	+35.3%	5,231	+23.7%	10,074	+29.0%
その他	659	838	1,497	631	▲4.2%	706	▲15.7%	1,338	▲10.6%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



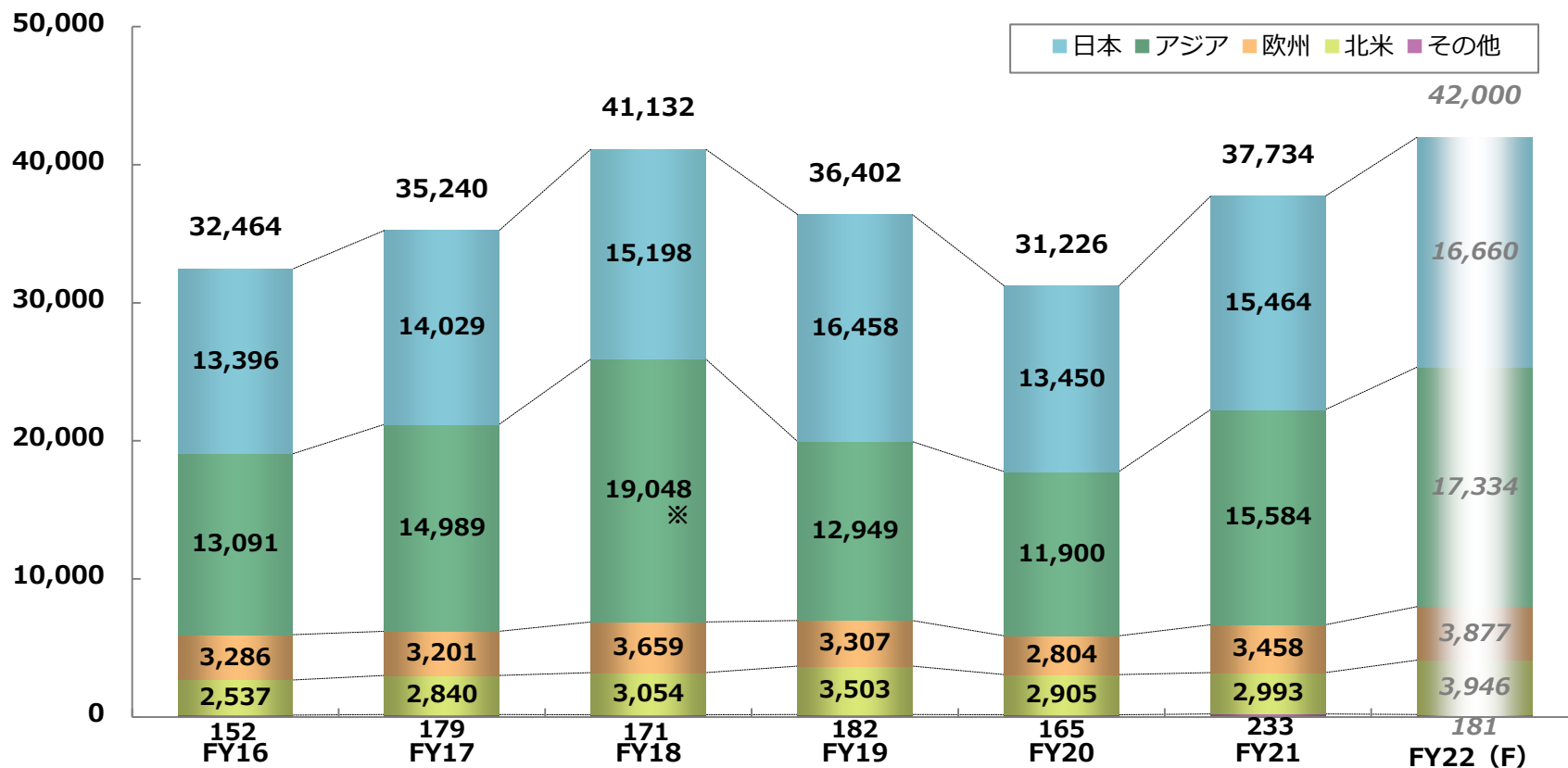
【主要3製品】

- ・ SiCコーティング黒鉛製品は半導体用、LED用とも一段の需要増。FY21完成の増強能力をフル活用し、積み上がった受注こなす。
- ・ C/Cコンポジット製品は主力3用途（半導体用・太陽電池用・工業炉用）ともに好調。
- ・ 黒鉛シート製品は自動車用、半導体用、冶金用いずれも堅調。

4. 地域別売上高

✓ 国内・中国が引き続き好調、欧州・北米も高い伸び

(単位：百万円)



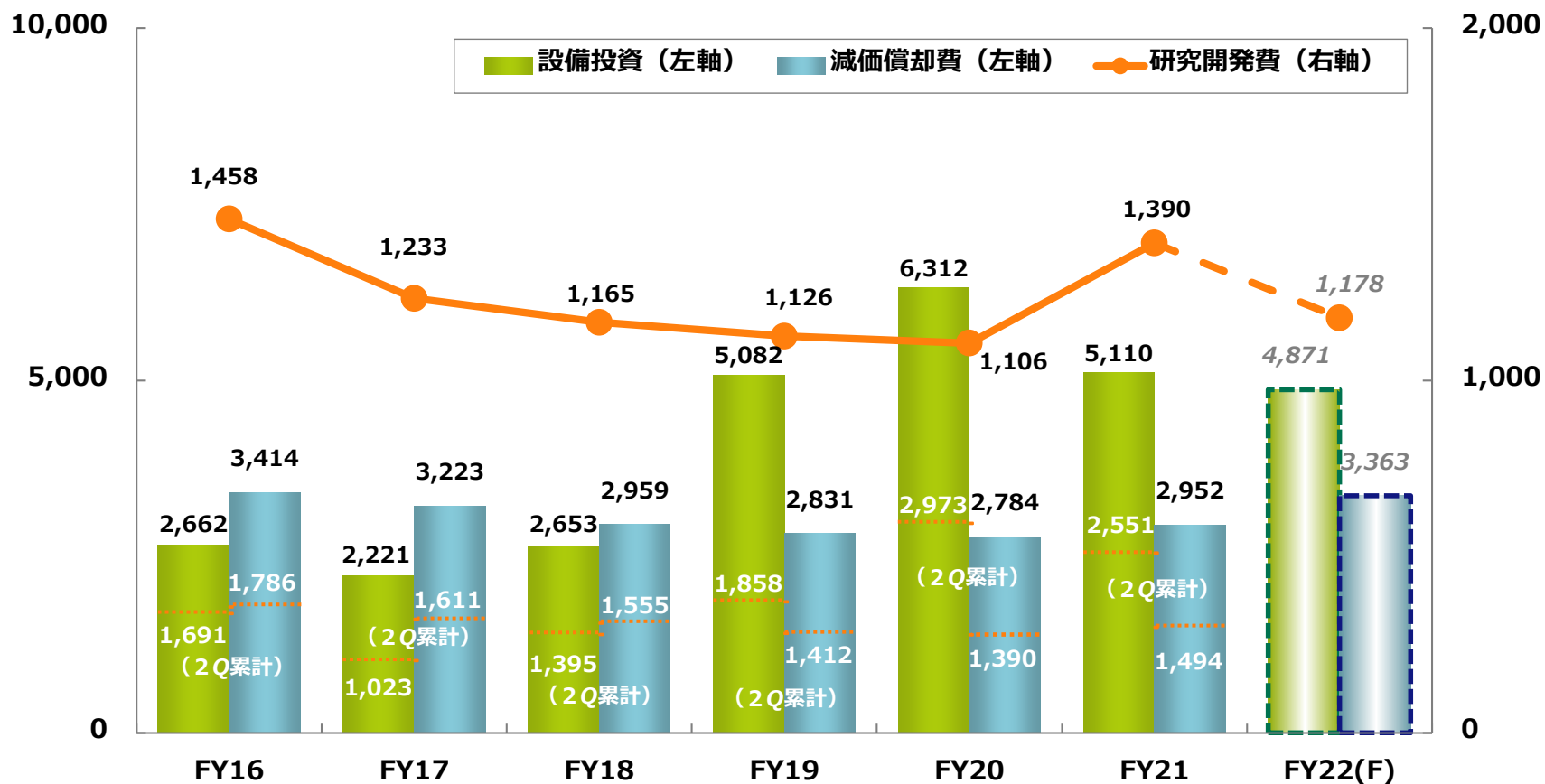
※ FY18のアジアの売上高には、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上高3,204百万円が含まれております。

5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

- ✓ 実施時期の見直しなどでFY21は計画下回る着地
- ✓ 高付加価値分野増強・生産性向上のための設備投資はFY22も継続

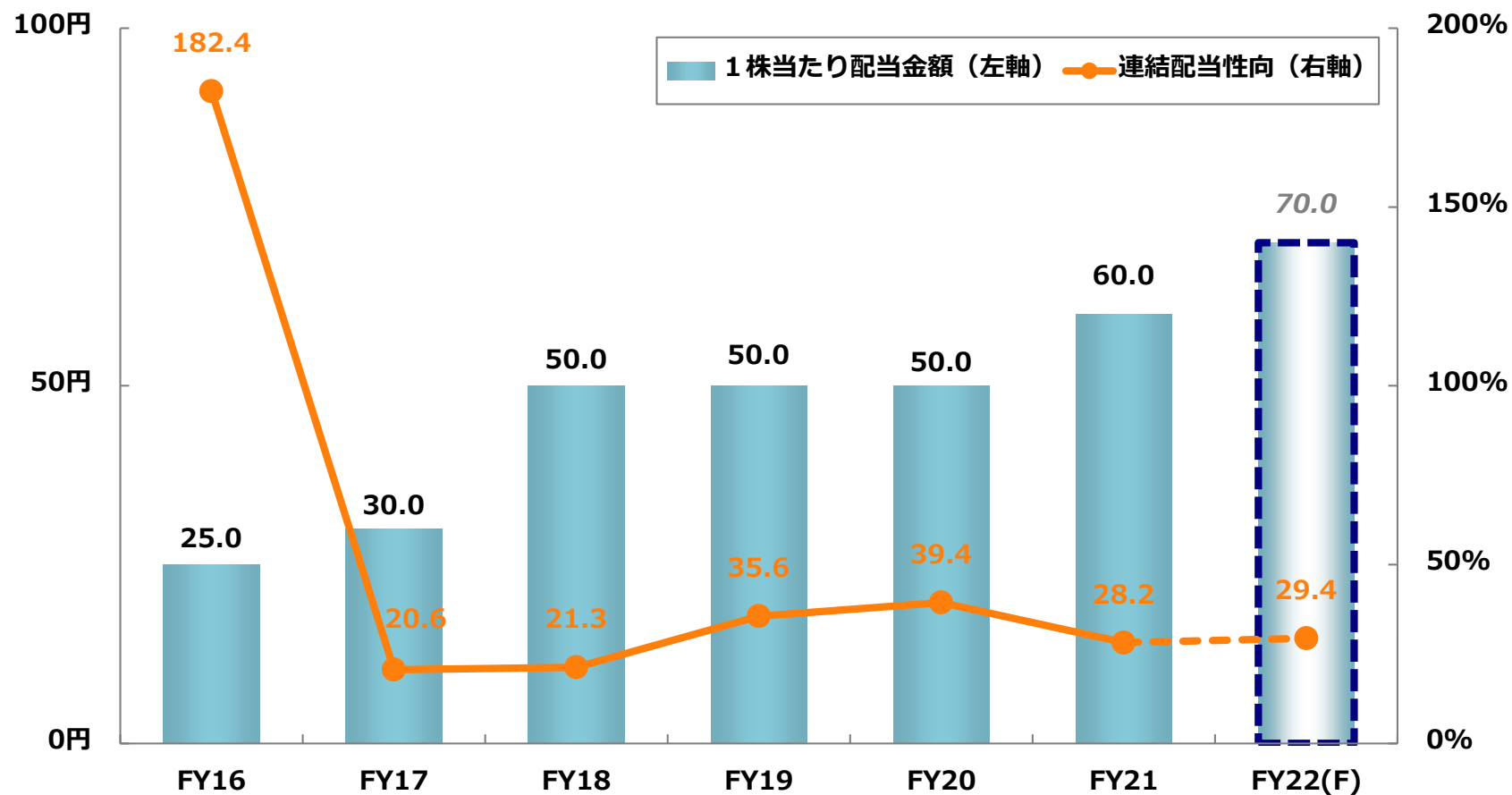
(単位：百万円)

(単位：百万円)



6. 株主還元

✓ FY21は期初計画比/前期比10円の増配を決定
FY22はさらに10円の増配予定



TOYO TANSO

Inspiration for Innovation

(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

〈お問合せ先〉

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL : 06-6472-5811(代)

E-mail : ir@toyotanso.co.jp